

ベトナムの大学や理学療法士協会が 日本のリハビリ現場を視察

高齢化時代が迫るベトナムで関西企業が理学療法士育成ビジネスを模索

介護・リハビリテーション(リハビリ)業界における人材不足は、日本を含む先進国のみならず、高度成長を続ける開発途上国においても課題となりつつあります。今般、ベトナムの大学や理学療法士協会の関係者 5 名が日本のリハビリ現場を視察するため来日し、2月29日に奈良県の介護老人保健施設を訪問します。

2000年代以降、年率7%前後の成長を長らく続けているベトナムでは、徐々に高齢化時代が近づくなか、介護・リハビリ分野の人材不足が顕在化してきています。経済成長に伴う交通事故の増加なども背景に、理学療法士の重要性やニーズが高まる一方、十分な育成体制が整っていないことから、その増員や育成が進んでいません。ウェルコンサル株式会社(本社:大阪府大阪市、奈良・京都・大阪を中心に介護施設を運営)は、ベトナムでのリハビリ人材育成分野への進出を目指すべく、JICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」(※1)を活用し、ビジネス展開の可能性を調査しています。

同社は、国内の介護施設において、介護士の育成に取り組んできた豊富な経験やノウハウ(※2)を活かし、ビジネスを通じて、ベトナムのリハビリ人材の育成に取り組むとともに、同外国人材の日本での就業を目指しています。

今般、上記JICA事業により2月26日から3月1日までベトナムの関係者を日本に招へいし、同社のリハビリ人材プログラムが奈良県内の教育機関や医療機関で活用されている現場を視察し、意見交換を行うものです。是非取材をご検討ください。

- ・取材可能日時：2月29日(木) 13:00~14:30
(於：医療法人悠明会 介護老人保健施設ウェルケア悠内リハビリテーションセンター
奈良県大和郡山市田中町728番地)
- ・言語：日本語(ベトナム語通訳あり)
- ・取材申し込み期限：2月27日(火)(以下問い合わせ先までご連絡ください)
- ・プログラム：
リハビリテーション現場における、OJT技術指導の実践例の見学
急性期・回復期・維持期リハビリテーションを繋げる、地域包括ケアの実践例の見学と解説

(※1)中小企業・SDGsビジネス支援事業:SDGsを含む社会課題を抱える開発途上国でビジ

ネス展開を目指す日本企業を支援する事業で、企業からの提案に基づき実施。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/index.html

(※2) ウェルコンサル株式会社が介護職員のキャリア形成用に開発した人材育成システム(特許)をベースにリハビリ職員にも拡大適用できるようプログラムを再開発。

<ウェルコンサル株式会社について>

介護保険適用の各種介護サービス提供をはじめ、ホームヘルパー・ケアマネジャー等の講座、人材紹介、医療介護事務所開設サポートを含む福祉分野のコンサルテーションを実施している。同社を含むウェルグループは、医療・介護・コンサルティング・外国人材紹介等を行う。

JICA「ベトナム国リハビリテーション人材育成プログラム導入に関する案件化調査」を2023年4月から2024年6月まで実施中。

(ウェルコンサル株式会社 HP) <https://www.wellconsul.co.jp/>

(ウェルグループ HP) <https://wellgroup-service.jp/>

本件に関する問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西)

企業連携課 (担当: 宮田)

TEL : 078-261-0397 E-mail : Miyata.Tomoko3@jica.go.jp